

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、測定機器の老朽化更新に伴い、同一メーカーの測定機器及び機器専用試薬に変更させていただきます。

この変更に伴い、「腔擦過物」及び「咽頭擦過物」での測定も可能となります。

また、各検査材料の採取方法につきましても最新版をご案内させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白



項目名

総合検査案内 2024 : 78 ページ掲載

- 淋菌及びクラミジア・トラコマチス/リアルタイムPCR
(淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出) (依頼コード No.01018)
- クラミジア・トラコマチス/リアルタイムPCR
(クラミジア・トラコマチス核酸検出) (依頼コード No.01059)
- 淋菌/リアルタイムPCR(淋菌核酸検出) (依頼コード No.01209)

変更日 2025年4月1日(火) ご依頼分より

次ページに続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎0570-085-212 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

	新			従来
検査項目名 及び 依頼（報告） コードNo.	01018(親)クラミジア・淋菌/リアル (子)01043 クラミジア/リアル (子)01044 淋菌/リアル	01059 クラミジア/リアル	01209 淋菌/リアル	同左
検体必要量	泌尿器・子宮頸部・陰擦過物、咽頭擦過物 尿 4.5～6.3mL うがい液 4.5～6.4mL			泌尿器・子宮頸部分泌物 尿 4.5～6.3mL うがい液 4.5～6.4mL

判定一致率表

<クラミジア・トラコマチス>

		従来		
		(+)	(-)	合計
新	(+)	44	0	44
	(-)	0	2	2
	合計	44	2	46

陽性一致率：100%
陰性一致率：100%
判定一致率：100%

<淋菌>

		従来		
		(+)	(-)	合計
新	(+)	2	0	2
	(-)	0	44	44
	合計	2	44	46

陽性一致率：100%
陰性一致率：100%
判定一致率：100%

		従来		
		(+)	(-)	合計
新	(+)	34	0	34
	(-)	0	12	12
	合計	34	12	46

陽性一致率：100%
陰性一致率：100%
判定一致率：100%

		従来		
		(+)	(-)	合計
新	(+)	12	0	12
	(-)	0	34	34
	合計	12	34	46

陽性一致率：100%
陰性一致率：100%
判定一致率：100%

		従来		
		(+)	(-)	合計
新	(+)	10	1	11
	(-)	0	13	13
	合計	10	14	24

陽性一致率：100%
陰性一致率：92.9%
判定一致率：95.8%

		従来		
		(+)	(-)	合計
新	(+)	15	0	15
	(-)	0	9	9
	合計	15	9	24

陽性一致率：100%
陰性一致率：100%
判定一致率：100%

自社検討資料

【参考文献】

日本性感染症学会：性感染症 診断・治療ガイドライン 2020.

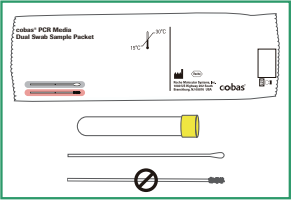
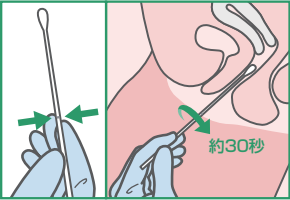
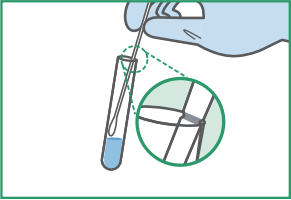
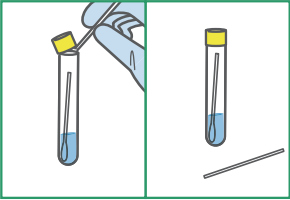
※検体採取上の注意

- ・ <共通> 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- ・ <子宮頸管、腔、尿検体>カルボマー(カルボキシビニルポリマー)を含む腔潤滑剤、クリーム、ゲルなどの製品は、検査結果に影響する可能性があるため採取中または採取前(約24時間)に使用しないでください。
- ・ <尿検体> 女性の尿を採取する前は消毒をしないでください。月経中の患者からは尿検体は採取しないでください。
- ・ <うがい液> 検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むなどは避けてください。

子宮頸管(女性)の場合(専用容器:CT/NG PCR-S)

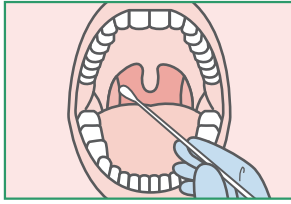
<p>1. 子宮頸部の粘液除去</p>  <p>付属のドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を十分拭い取ります。 【注意】粘液を拭ったスワブは廃棄します。</p>	<p>2. 子宮頸管検体の採取</p>  <p>付属されているフロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(回しすぎないでください。)スワブを引き抜く際は腔の粘膜に触れないように注意してください。</p>
<p>3. 子宮頸管検体の保存</p>  <p>コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。</p>	<p>4.</p>  <p>コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線の部分でスワブの柄を折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。 【注意】手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。</p>

腔の場合(専用容器:CT/NG PCR-S)

<p>使用するスワブ</p>  <p>付属のドライスワブのみを使用します。フロックスワブは使用しないでください。</p>	<p>1. 腔検体の採取</p>  <p>片手でドライスワブの黒い線の下側の柄を持ち、腔口から5cmほど挿入します。ドライスワブを腔壁にこすりつけるようにして時計回りに約30秒ほどゆっくりと回します。スワブを慎重に引き抜きます。コバスPCRメディアに保管するまでは先端部がどこにも触れないようにしてください。</p>
<p>2. 腔検体の保存</p>  <p>コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。</p>	<p>3.</p>  <p>コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線の部分でスワブの柄を折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。 【注意】手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。</p>

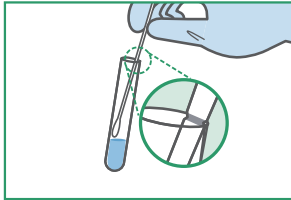
咽喉の場合(専用容器:CT/NG PCR-S)

1. 検体の採取



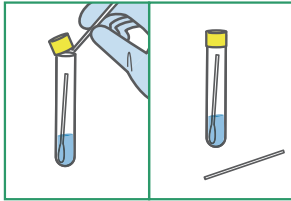
付属されている**ドライスワブ**を使用し、後咽頭部および扁桃腺、口蓋垂を擦過します。スワブを引き抜く際は口腔内に触れないように注意してください。

2. 検体の保存



コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。

3.

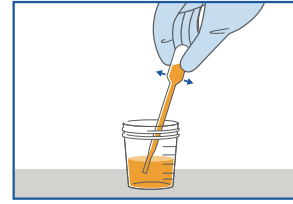


コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線の部分でスワブの柄を折ります。キャップをしっかりと閉めます。

【注意】手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

尿の場合(専用容器:CT/NG PCR-U)

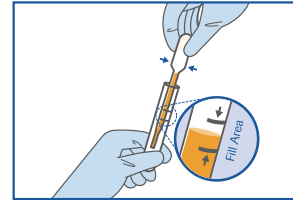
1. 検体の採取



容器に初尿を採取します。スポイトを用いて、初尿を**コバスPCRメディア**に移します。

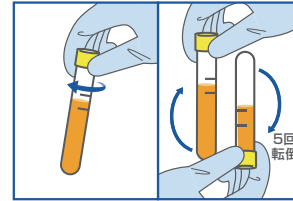
【注意】初尿は採取後2~30℃で24時間以内にPCRメディアに移してください。

2. 検体輸送液への懸濁



コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。

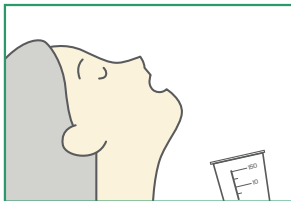
3. 検体容器の保管



キャップをしっかりと閉めてください。容器を5回転倒混和させてください。

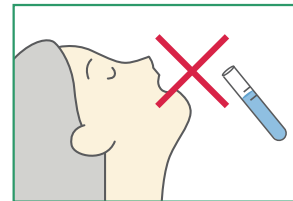
うがい液の場合(専用容器:CT/NG PCR-U)

1. うがいの仕方



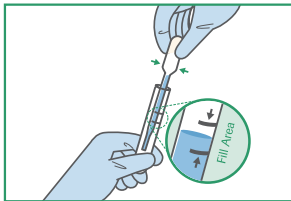
生理食塩水をコップに15~20mL入れてください。15~20mLを口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。

【注意】口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせて“うがい液”とします。



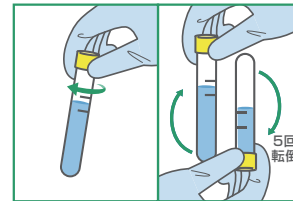
【注意】コバスPCRメディアの液体はうがい用の液ではありません。絶対に口に含まないでください。液体には塩酸グアニジンが含まれており危険です。

2. 検体輸送液への懸濁



“うがい液”全量をうがい用容器に回収し、スポイトで**コバスPCRメディア**に記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。

3. 検体容器の保管



キャップをしっかりと閉めてください。容器を5回転倒混和させてください。